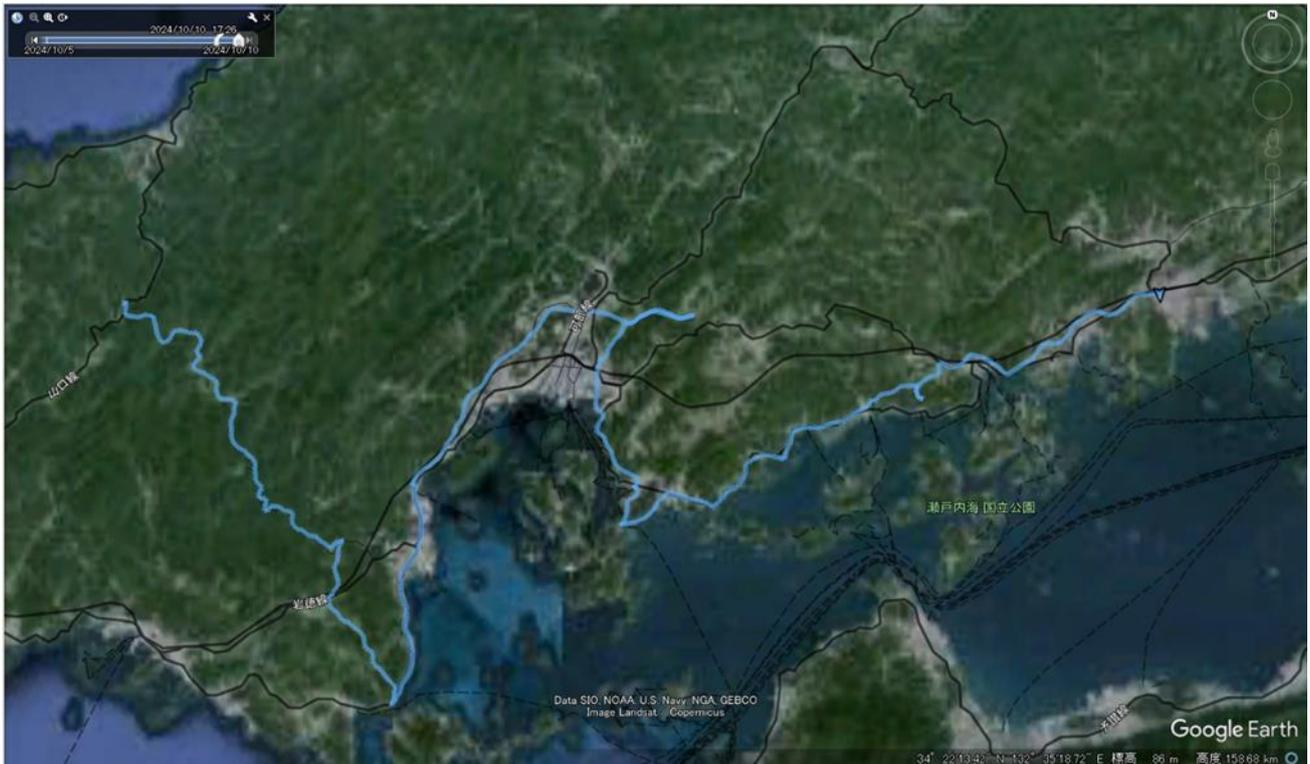


☆6日目（10月10日）：津和野から福山まで



行程地図（6日目）\_記録 OLYMPUS TOUGH TG-6

宿で朝ご飯を頂いてから出発。広島県の呉で昼に友人 Yさん待ち合わせなので、内陸は急いで走行しなくてはならない。天気は良好。国道 9 から県道 226 に入ったが、笹山の曲がり角を曲がり損ねて直進してしまい、旧道なのだろうか、林道を抜けて再び県道 226 に合流する道を進んでしまった。



写真 201. 朝ご飯も数が沢山



写真 202. 津和野の町はまだ日の出前

県道 226 と 3、国道 187 と乗り継いで本州の山の中を抜ける間、突然霧が出てきたり、晴れたりと落ち着かない天気だったが、総じて気持ちよく走れる道だった。



写真 203. 県道 226 の旧道



写真 204. 山越えの狭い道



写真 205. 青空だが、雲が出てくる



写真 206. 突然雲の中



写真 207. すぐに晴れます



写真 208. 鉄道と併走区間に入る

山間の国道だが、突然鉄道と併走、列車が見えた。錦川鉄道錦川清流線だ。列車が駅に止まる間に追い抜き、先回りして写真を撮った。



写真 209. 錦川清流線



写真 210. 蛍が書かれた可愛い列車だ

国道 2 に合流して南下。大きな屋敷と提灯や幟が見えてきた。「いろり山賊 玖珂店」だ。この手前の通り過ぎてきた「いろり山賊 錦店」を、NHK の「ドキュメント 72 時間」で「山奥の不夜城レストラン」で見たのを思い出した。こんな所にあっただですね。快適ロードは、燃費が最終的に 25.4km/L にまで伸びました。



写真 211. 「いろり山賊 錦店」



写真 212. 派手な提灯と幟が目立つ



写真 213. 燃費がいいね、25km/L



写真 214. 戻ってきた瀬戸内は快晴

大島で国道 188 にでて、山陽本線沿いを北上した。岩国を過ぎて、高速に乗って呉まで時短走行。



写真 215. 山陽本線 Red Wing 号



写真 216. 高速は、宮島の近く通過



写真 217. 広島湾



写真 218. 大きな船が入っています



写真 219. 気温ただいま上昇中 27°C



写真 220. Yさんと合流

まずは、おなかが空いたので、「シーサイドカフェ ビーコン」で海自「護衛艦さみだれカレー」の呉名物「がんす」乗せを食べる。護衛艦「さみだれ」の中で食べられているのと同じだそうです。



写真 221. BEACON CAFÉ の船長オブジェ



写真 222. さみだれカレー（がんすませ）

一度は来たかった大和ミュージアム。入るといきなり 1/2 スケールの戦艦大和が展示してある。しかし、どうしてもこの手の展示は、「格好いい！」だけでなく戦時中の悲劇を涙無しでは見れない。2 階には、戦闘機や魚雷の展示。当時コンピューターはなく、CAD や CAE が使えない時代、設計した技術屋さんの苦労も計り知れない。



写真 223. 戦艦大和 1/10 スケール

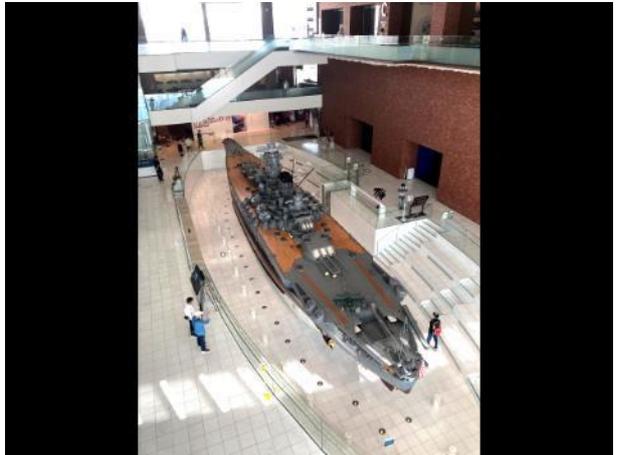


写真 224. 2 階回からも見える



写真 225. 戦闘機も展示



写真 226. 「てつのかじら館」入り口

大和ミュージアム。の後は、目の前に鎮座する潜水艦の中の海上自衛隊呉資料館「てつのかじら館」を見学。



写真 227. 大和ミュージアムから「てつのくじら館」を望む



写真 228. 潜水艦内



[入場チケット]

展示室と潜水艦艦内展示とがあり、立派な施設だった。艦内は機械・配管で一杯だった。見学が終わりYさん先導で広島見物しながら福山に向かった。国道 487 から潜水艦が見える「アレイからすこじま」添いを進んだ。



写真 229. Yさん先導で見物



写真 230. 潜水艦が見える

そこから、倉橋島に向かった。途中、2023年9月に閉鎖された日本製鉄呉製鉄所が錆だけの姿で残っていた。第二音戸大橋が見えてきたが、その下をくぐり、先にある音戸大橋を渡る。倉橋島から、両方の赤い橋が見えるポイントで写真を撮ってから引き返した。この先に行くと、海軍で有名な江田島だが、今回は寄らず。



写真 231. 日本製鉄呉製鉄所跡



写真 232. 第二音戸大橋の下をくぐる



写真 233. ループ橋を上っていきます



写真 234. 音戸大橋からの眺望



写真 235. 景色のいい橋だった

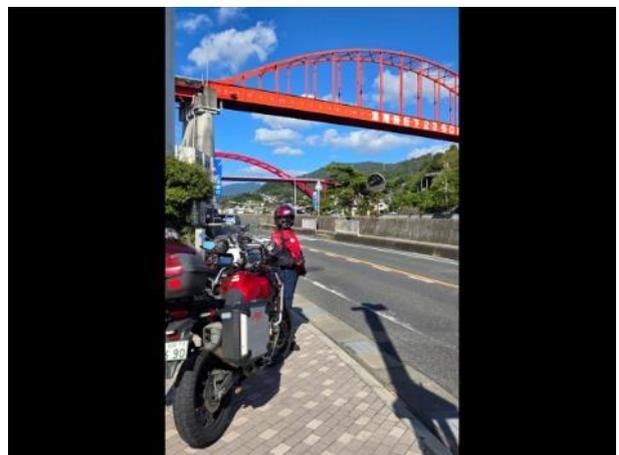


写真 236. 撮影ポイント

本土に引き返して橋の下を通るときに、狭い海峡をジェット船が勢いよく走り抜けた。ここは、「音頭の瀬戸」と呼ばれているところで、大きな船も通って行くので、見応えがあるそうだ。



写真 237. ループ橋を登って引き返す



写真 238. 橋の下を滑走するジェット船

県道 66 から国道 185 に入って、瀬戸内海沿いを走って、飛島海道の入口を通過した。これで、本州の海岸線を走破したことになります。バンザーイ！



写真 239. 国道 185 で晴れた瀬戸内快走



写真 240. 飛島海道の入口

引き続き国道 185 を道の駅「たけはら」まで進みます。途中で瀬戸内さざなみ線（呉線）の「Red Wing 号」とたまたまれ違った。



写真 241. 大芝島を望む



写真 242. 瀬戸内さざなみ線

道の駅「たけはら」で休憩して、そこから県道 75 で三原市方面に向かい、途中で曲がって白瀧山 龍泉寺に上がった。そこからは徒歩で白瀧山山頂まで登った。



写真 243. 道の駅「たけはら」



写真 244. 白瀧山山頂



写真 245. 瀬戸内海が一望 絶景ポイント！



写真 246. 内陸側も一望

龍泉寺には江戸時代の磨崖仏や鐘楼も有った。静かで素敵なお寺でした。



写真 247. 磨崖仏の説明板

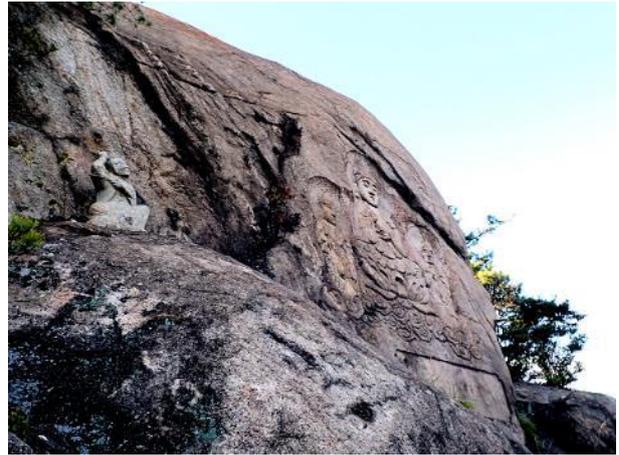


写真 248. 磨崖仏



写真 249. 龍泉寺の鐘楼



写真 250. 龍泉寺の石仏

その後は、県道から国道 2 に出て、道の駅「みはら神明の里」で休憩。



写真 251. 道の駅「みはら神明の里」



写真 252. 夕暮れの瀬戸内



写真 253. 国道 2 を福山方面に進む



写真 254. 福山 Yさん宅到着

Yさんの車で近くのスーパー銭湯と夕飯に連れて行っていただいた。福山の郷土料理を食べた。



写真 255. 季節の名物「ちーいか刺身定食」



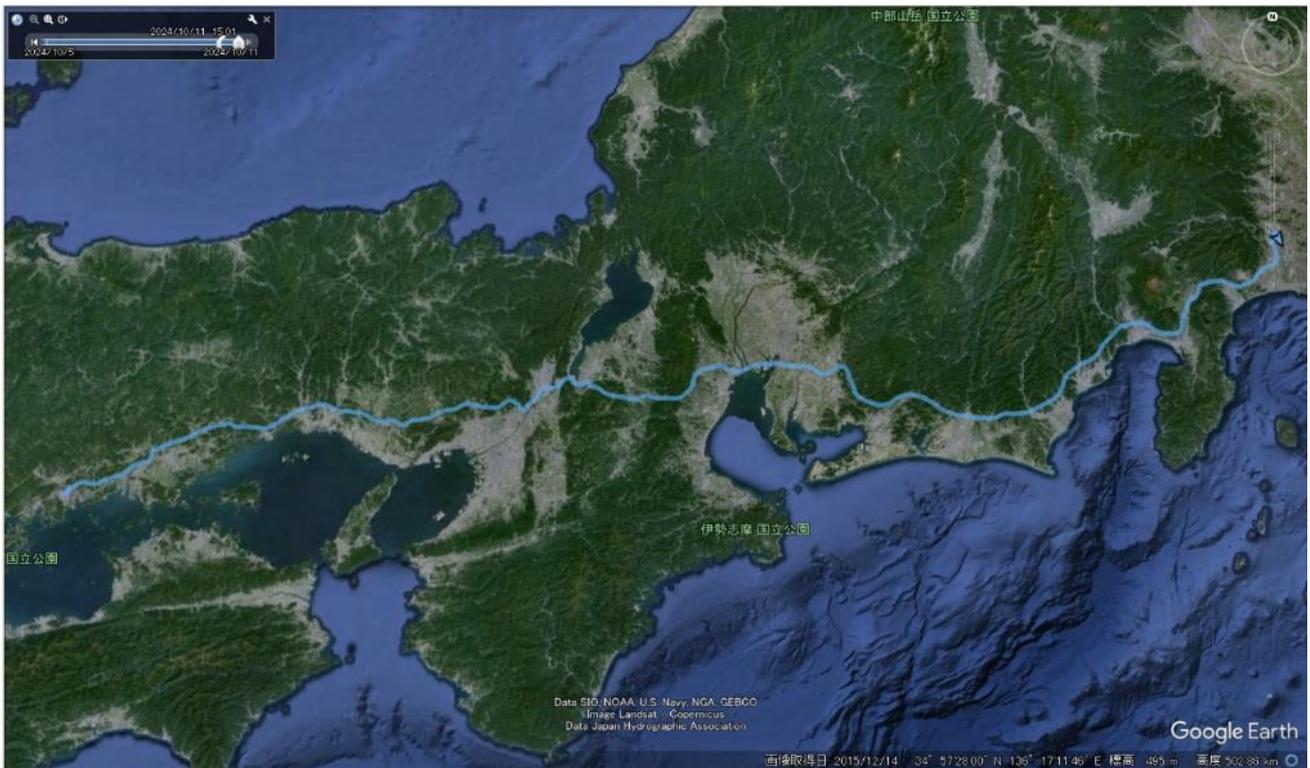
写真 256. 季節の名物「ネブトの唐揚げ」

「ちーいか」は、この時期にしか獲れない小さなイカで今回は天ぷらで出てきた。Yさんのおごりの「ネブト」は、小さな魚でテンジクダイと言らしい。頭は固いので切り落とされて唐揚げにされている。どちらも福山の郷土料理で、美味しかった。



写真 257. 「ちーいか」が美味しい「こ魚阿も珍」

☆7日目（10月11日）：福山から相模原まで



行程地図（7日目）\_記録 OLYMPUS TOUGH TG-6

いよいよ最終日、本日は福山から700キロ弱を一気に帰ります。

早朝5時30分頃に、Yさん宅を出発。山陽自動車道の福山東インターチェンジから高速に乗った。朝焼けと日の出がきれいだった。



写真 258. 早朝の福山市内



写真 259. 山陽道で夜明け

途中からは、来たときと同じ道を引き返す。この季節にしては、暖かくて助かる。最初の休憩場所は、宝塚北サービスエリア。漫画家の手塚治虫が宝塚市に住んでいたとかで、代表作の「火の鳥」の盆栽オブジェがあった。



写真 260. 御来光



写真 261. 宝塚北サービスエリア



写真 262. なんとなくおしゃれな道の駅



写真 263. 「火の鳥」の盆栽オブジェ

ここで、昨晚コンビニで買っておいた朝食のパンを食べた。おしゃれな道の駅なので、中で食べる場所を見つけるのに苦労した。



写真 264. 昨晚コンビニ買っておいた朝食



写真 265. 渋滞看板と新名神工事現場

神戸・大阪・京都を抜ける時がいつも渋滞だし、道がわかりにくい。途中で新名神延伸工事現場を見たが、早く開通して欲しいものである。



写真 266. 快適高速走行

関西圏を抜けると、後は快適な高速走行が出来る。気温は高いが、空は少しずつ秋の空になってきていた。



写真 267. 伊勢湾岸も上りは混んでいない



写真 268. 秋っぽいスジ雲

帰りは、浜松サービスエリアに寄って、昼食。やっぱり浜松と言えば鰻。「うな玉とじ丼」を食べた。



写真 269. 浜松サービスエリア



写真 270. うな玉とじ丼



写真 271. 富士山が見えてきた

清水辺りに来ると、いつものように富士山がお出迎え。下の方に雲がかかっているので、近くと見えなくなりました。いつも御殿場の新東名と東名の合流辺りに来ると、帰ってきた安堵感と、楽しい旅が終わる寂しさとの葛藤が始まる。



写真 272. 富士山のお出迎えに感謝



写真 273. 新東名と東名の合流

14時半頃に家に帰着。気温は31℃真夏の温度です。総走行距離 2832.2 キロ、平均燃費 22.6km/L でした。おかげさまで、四国と本州の海岸線走破をコンプリートできました。



写真 274. 帰宅時のメーター

2024年10月作成  
Erich Suzuki